

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2010年03月03日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

| | |
|------|---|
| | NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000052"/> 整理番号 <input type="text" value="11445"/> 担当者 <input type="text" value="峯崎 隆司"/> |
| 表 題 | <input type="text" value="二酸化炭素吹き込みによるリン酸含有物からのリン酸の抽出"/> |
| 技術分野 | <input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="無機材料"/> |
| 適用製品 | <input type="text" value="下水焼却汚泥、リン酸塩"/> |
| 目 的 | <input type="text" value="焼却汚泥中にはリン酸塩を多く含有しているため新たなリン資源として有望であるが、酸による抽出では目的成分だけでなく重金属も溶出してしまう。そこで、二酸化炭素を懸濁液中に吹き込むだけの簡便なプロセスで重金属を含まないリン酸塩水溶液を回収する。"/> |
| 技術概要 | <input type="text" value="一般的にリン酸塩は難溶性であり、水には溶解しない。このためリン酸塩含有物からリン酸塩を抽出するには、酸を用いて溶解させる必要がある。しかし、この方法では目的成分以外の成分も溶出する。一方、難溶性のリン酸塩懸濁液に二酸化炭素を吹き込むとリン酸カルシウムおよびリン酸マグネシウムの溶解度だけが増大することを発見した。これにより、リン酸塩含有物から主にリン酸カルシウムおよびリン酸マグネシウムが溶解し、重金属を含まないリン酸塩水溶液が回収可能である。なお、この方法はリン酸カルシウムの可溶化にも有効である。"/> |

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

| | | | |
|---------------|----------------------|-------|----------------------|
| 面談希望日時 | <input type="text"/> | | |
| (ふりがな) 氏 名 | <input type="text"/> | | |
| 会社名 | <input type="text"/> | | |
| 所 属 | <input type="text"/> | 役職 | <input type="text"/> |
| 電話番号 | <input type="text"/> | FAX番号 | <input type="text"/> |
| E-mail | <input type="text"/> | | |
| 連絡事項 | <input type="text"/> | | |



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp